

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 11 月 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104849		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホームかぐや姫		
所在地	広島市東区尾長東2-6-6 (電話) 082-209-1158		
自己評価作成日	平成29年9月13日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104849-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3470104849-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年10月23日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>①毎日午後よりGH①②合同にてレクリエーションをおこなっている。下肢運動、ボールを使っ ての運動、又、綿菓子、ポップコーンをご利用様と一緒に作り楽しんでもらっている。 ② 職員が明るく、いつも笑い声が絶えない状況を心がけている。 ③地域との交流を大事にしている。例えば、運動会への参加や保育園児の来訪などです。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>綿菓子や焼き芋ポップコーンの機械を会社で購入しているこのため希望に応じ作成できる環境 にある。週に2回はカップケーキホットケーキと要望に応じて手作りのおやつを準備し皆で楽しく 過ごせるように支援している。施設内研修を充実させることにより皆が熱心に学んでいるそれ により利用者に対する処遇に活かせるようにしている。 また、職員が皆笑顔を意識して業務をしており笑いかけることで利用者の笑顔を引き出すよう に施設全体で取り組まれている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所の理念【相手本位の心】、グループホームの理念【ほっこりとした雰囲気の中で笑顔のたえない一日が送れる様にお手伝いします】に基づき、常に受容し否定することなくご利用者様に尊厳を持って介護に従事している。	月に1度のミーティングにおいて理念を毎回話し合い、各職員が個別に目標設定している。定期的な面談によりモチベーションが上がるように取り組み実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	年に数回、行事がある際は事前に町内会で報告し、又、運営推進会議に参加の声掛けをしている。出勤時やご利用者様と散歩に出かけた際は、近隣の方々に挨拶を常に行っている。	自治会に加入しており普段から地域との交流を図れるようにしている。近所に公園があり散歩に出かけたりコンビニで買い物をしたり認知症カフェ等に出かけることで地域の方とのふれあいを大切にしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	夏祭りなどで法人による相談の窓口を設けている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議が開催される遅くとも1ヶ月前には、民生委員、地域包括センター、地域の方、婦人会長さん、ご家族様に連絡している。開催時には、現在取り組んでいる事、状況について報告している。ご意見をいただいた内容に的確に答えられるよう心掛けている。	定期的に開催している運営推進会議での議事録を毎月送付することで家族様との信頼関係構築につなげている。また、地域に開かれた事業所となるように取り組んでいる。中には包括支援センターの方からの助言を受け、感染症対策につなげた事例がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	町内会に参加し、事業所の現在の取組みなどを説明させて頂いている。	運営推進会議に地域包括支援センターの方をお呼びしている。今後は平日に、担当者に話に行き双方向の情報交換を行いアドバイスと受けていただけるように企画している。	区役所に事あるごとに訪問し担当者との顔の見える関係を構築できるように期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員が出入りするドアは防犯上の理由で電子ロックを使用している。GH①②の中扉は常に開放しておりご利用者様に行き来してもらっている。</p>	<p>身体拘束をしないように施設全体で研修会を開催し職員一人一人が業務に取り組んでいる。以前はベッドの壁付二点柵をしていたこともあるが現在は家族様との話し合いにより行ってはいない。このため現在拘束している事例はない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>月に一度のミーティングで何が虐待か、どこまでを虐待というのかの話は常におこなっている。研修にも参加し職員間で共有している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、グループホームにて3名様が成年後見制度を用いています。その都度、知識が得られるよう学んでいます。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には約款の内容を説明し、質問等に答えています。又、重度化した場合の対応やリスクについても説明しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご利用者様、ご家族様の意見要望は運営推進会議、ご家族様来訪時等に聞かせていただきミーティングにて職員で共有しています。</p>	<p>来訪された時に話をすることで聞き取りを行っている。 人見知りや激しい利用者にはテーブルを移動したり、職員の顔と名前が分からないとの家族からの要望があった際は入り口に顔写真と名前を掲示するように対応した事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度のミーティングで出た意見や提案に対しては、職員間で話し合い、内容は議事録に書きとめ職員で共有しています。	月に1度のミーティングでは、1人1つは改善案を提案するようにしている。利用者の介助方法について話し合い皆で実施できるようにしている。職員の意見では人員を増やしてほしいという要望に対し早急に対応されていた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的に職場環境や条件についての希望を聞く場を設けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内外の研修が月1回以上。開催されており率先して参加している。月に1回のミーティングで研修内容を報告し全員で共有している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	隣接するGHとの会議を毎週1回(金曜日)おこなっている。その場で意見交換、情報交換をおこなっている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様、ご家族様に雰囲気のみで感じてもらいながら担当ケアマネジャーよりも情報をしっかり把握して良い関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族様との面談時に要望、質問、不安な事等あった際は、納得いく迄説明させていただき、ご家族様、施設間の信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>集めた情報を基に、ご家族様、ケアマネージャー、職員と共にご本人様にとって必要な支援を考える。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>自立支援を念頭に置き、職員とご利用者様のくくりを出来るだけ作らず一緒に行動して一緒に笑い合える関係を築いている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様にも積極的に関わりを持っていただけるように行事やイベントがある時は、事前に連絡している。又、来訪時には状況報告している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人様が馴染みにされている美容院へご家族様と出掛けたり、又、ご友人が来られた際はコーヒーを飲みながら昔話をされている。</p>	<p>以前からの関係を継続するために定期的に訪問できる環境を整えている。馴染みの美容院へ出かけたりと支援している。同施設のデイサービスに友人が来られた際は交流が図れるように場所を提供している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中は出来るだけディールームで過ごしていただき職員を交えて会話を楽しみ孤立しないよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	他施設に行かれたご利用者様に面会に行ったり、ご家族様の相談事には退所後も出来る限り応えている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様の想いや希望はできる限り意向に沿うよう努めている。又、ミーティングにて職員間で共有している。	日ごろの会話の中から『帰りたい』『おいしいものが食べたい』との希望がある。その際には家族に連絡して自宅に帰れるよう連携したり、お好み焼きが食べたいと言う要望の際は個別に注文し喜んでもらえるよう支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居以前のアセスメントをしっかり把握して対応している。出来るだけ環境を変えない様馴染みの家具、食器、洋服等を身近に置いてもらっている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	職員一人一人が日々の変化に気づける様目配り気配りし、その都度記録に残す様努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアカンファレンスの際は、看護師、職員、ケアマネージャー同席の上でおこなっている。又、ご家族様、ご本人様の意向を聞きながら支援している。</p>	<p>利用者ごとに担当者を決めてケアプラン原案を作成している。それを計画担当者が共有しケアプラン作りに生かしている。家族へは意向の確認を行い、本人家族の要望の把握に努めている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別に日々の様子、変化等をケース記録に記入している。職員で共有し介護計画の見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様、ご家族様その時々生まれるニーズに対応出来る様、常に柔軟な支援を心がけている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近隣の保育園児との交流や近所への散歩、買い物等をしに出かけています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人様、ご家族様の希望があれば、かかりつけ医の受診は可能である。その際は看護師かご家族様同行にて対応している。</p>	<p>協力病院の往診が2週間に1回あり、ほぼ全ての利用者の主治医となっている。グループホームに看護師がおりその都度対応できるシステムがある。また歯科や専門医には、その都度要望により家族が付き添って診察を受けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々の体調変化や異常時には看護師に報告し、速やかに対応出来る様支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者が入院された場合は、状態の報告を速やかにおこない、ご家族様、病院関係者と相談し、今後の方針を決める様にしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時には契約と同時に重度化した場合についても説明後サインを頂いている。管理者よりご家族様に事業所として出来る事を十分に説明し方針を決めている。主治医にもその旨報告し指示を仰いでいる。</p>	<p>看取りに対する研修を全職員がしっかりと行っている。協力医と連携を図りながら常駐の看護師の元、積極的に看取りを行った多くの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職員全員が対応出来る様マニュアル化し、年に何度か事故発生時の備えを再度確認している。皆がいつでも見られる様ファイルにとじている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回の防火訓練は実施している。年1回は職員、防火管理者（ディサービス/森下）立会いにて消防署より説明指導を受けている。（H29年度 9/12,10/12）町内会では火災時、地域住民の協力を得られる様声かけしている。避難場所：尾長東2丁目 片河集会所 □H30年 火災報知の自動化→現在、計画中</p>	<p>年2回の防火訓練のうち1回は消防署立会いで実施している。また地域の自治会に入っているため万が一の災害時には応援に来てもらう体制作りもできている。</p>	<p>今後は火災以外の訓練を夜間想定訓練を含め実施し安全に配慮した取り組みを期待したい。</p>



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご利用者様の自尊心や羞恥心に配慮して、トイレ、入浴、更衣時の際は必ずドアを閉める。他のご利用者様の前でトイレの声かけはしない。浴室から出る時は男女問わずバスタオル等で前身覆う様心がけている。ご利用者様一人一人、入居される迄の生活、環境の違いを職員間で把握して対応する。	利用者の排泄リズムを把握し個々に対応出来るようにしている事でプライバシーに配慮している。また入浴のときにはバスタオルをかけるなどの配慮を行い一人ひとりの人格を尊重し対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご利用者様の意志を尊重し無理強いや強制をおこなわない様心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務よりご利用者様優先に。一人一人にあったペースで生活していただいている。ご利用者様によっては裁縫されたり、食事準備のお手伝いをされています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	起床時には可能な限り、ご本人様に整容を促している。又、毎月地域に美容師による散髪や毛染めがおこなわれている。入浴時には職員と一緒にご本人様の好みの服を選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食前食後のテーブル拭きや食器洗いを手伝っていただいている。朝食のみだが和食、洋食好みでお出ししている。外出された際、食事をご家族と一緒にされるご利用者様が昨年に比べ多くなった。	ご飯とお味噌汁はグループホームで準備しているがそれ以外の食材は同グループの配食サービスを利用している。入居者によっては、飲み込みが難しい方がおられミキサー等で加工している。配食サービスを中止しお寿司や食事を一緒に作り楽しまれ、食器洗いや片付けもよくされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご利用者様一人一人にあった食事形態にて提供している。食事量、水分量は毎回記録し、食事量、水分量が少ない場合は声かけ、又は介助をおこなっている。又、入浴後も水分補給していただいている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアの声かけと、十分でないご利用者様には介助をおこなっている。2週間に1度、歯科受信あり。口腔内の異常、気づきがあれば歯科に報告している。夕食後、義歯のご利用者様はポリドントにつけ、朝装着していただいている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎食事の前後、排泄の声かけをおこない、又介助をしている。ご利用者様より訴えある時は誘導をおこなっている。記録はその都度おこない、長時間排尿がみられない時は看護師に報告している。</p>	<p>おむつで入居された利用者も立位可能な方は個別の排尿間隔を把握しおむつはずしをした事もある。布パンツからリハビリパンツへの移行を対応せざるをえない方も安易にするのではなく、安心パンツ等の漏れがわかるものを使用することで、できるだけ自立が支援できるように対応している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防として水分をしっかり摂取して頂くよう心掛けています。又、便コントロールを看護師の指示にておこなっています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎月ではないにしても入浴剤を入れて気持ち良く入ってもらっています。週2回入浴していただいておりますが、その都度ご利用者様の希望に沿うよう努めています。その際、着替えはご利用者様と一緒に準備しています。</p>	<p>嫌がられる利用者に対しては時間帯を設けずいつでも入浴できる体制となっている。また入浴を好まれる利用者に対しては回数を2回に制限せず行ったこともある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>ご利用者様一人一人の入居前 の生活習慣を職員間で共有し、 無理強いのない様入眠の声かけ をおこなっています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>服薬時には職員とご本人様と一 緒に名前、日付の確認をしてい ます。新たに処方された薬があ る場合、服薬ノートに記載し職 員で共有しています。副作用の 有無も確認しています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>食器洗いや洗濯物を干す、畳む 等のお手伝いをしています。編 み物、縫い物がお好きなご利用 者様がおられ出来るだけ入居 前の生活と変わらない様毎日 ではないにしてもしています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。</p>	<p>天気の良い日は職員と一緒に散 歩に出かけたり、近くの店に行 き買い物に出かけています。ご 家族様もご利用者様と一緒に 外食に出かけたりします。</p>	<p>気候の良いときにはできるだけ 近所の公園やコンビニに買い 物に行けるようにしている。ま た、ご家族の支援の下自宅へ 帰ったり外食したりされる方 もいる。広島城の菊花展、桜 の花見等には外出を計画し近 隣の保育所の運動会に参加す るよこともある</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>ご家族様から預かっているお金 で外出時に食べ物や飲み物など を買っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>年末には必ず年賀状を書いて頂いてご家族様に送っています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎月清掃を行い、室内の照明室温にも配慮している。1日に1回は居室の窓を開け空気の入替えをおこなっている。共用の場所には四季に応じて展示物、飾り物を変えている。</p>	<p>共用の場所には普段、ちぎり絵や季節を感じる展示物を飾ってある。今後は落ち着いた感じの展示物を掲示する予定としている。常に各居室を清掃し不快とならない様に配慮されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ご利用者様同士がソファに座って話されたり、テーブルの椅子に座って新聞を読まれたり一人一人思い思いで過ごされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前に使用されていた品物を出来るだけ持って来て頂き居心地良く過ごして頂ける様にしています。</p>	<p>ベッドやカーテンは施設で準備してあるものを使用している。タンスや小物、テレビ等は自由に持ち込まれ、居心地の良い空間作りがなされている。中には壁に家族との思い出を飾られたり、仏壇等を持ち込まれている方もおられる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立支援の為、最小限の介護をおこなうようにしています。事故、けが等がおこらない様、職員間で声掛けしながら安全安心に過ごされる様支援しています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかぐや姫

作成日 平成29年11月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	市町担当者と日頃から連絡を密に取り事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	情報交換が常に出来るよう市町との風通しを良好にしていく。	運営推進会議に土日だけでなく平日にも開催し市町への参加を呼び掛けていく。市町に訪問し平日に介護に関する講座の依頼をする。	6か月
2	35	火災や地震、水害等の災害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	職員間で火災、災害時に備えて常日頃より意識を持つておく。	年2回、防火訓練を実施しているが日中に行っている為、夜間に発生した際の訓練を行っていない。夜間災害を想定し、日中に夜間災害時の訓練を年に一回は実施していく。	3か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。